

# 人権学習展開例

## 第3・4学年共通

- 主題名 自分を見つめよう
- 教材名 わたしってどんな人 <2時間扱い>  
(参考資料:「ぼく」竹田まゆみ 作 渡辺有一 絵 教育画劇)
- 人権学習の視点 普遍的な視点「自尊感情」
- 主題・教材について

日常生活において、児童達が自分自身とじっくり向き合い、客観的に見つめることができる機会は多くない。そこで本時では、「自分」をテーマとしたオリジナルの絵本を作る活動を通して、自分を見つめるきっかけとしたい。また、保護者や友達からの自分の良さや励ましの言葉が書かれたメッセージカードを読むことで、自分の良さを再確認し、新たな発見ができる時間にしたい。作成した絵本を友達と読み合うことで、個々の違いや良さにも気付くことができるようにしたい。

### ●ねらい

絵本を作成し読み合うことを通して、自分自身を見つめ自分の良さに気付くとともに、自他の違いを認め合い、自分も友達も大切にする心情を養う。

- 関連する教材 人権学習資料集 <小学校編Ⅱ> みんなちがって みんないい (3・4年生用)
- 本時の展開

### (※事前準備)

事前に保護者から、子どものがんばっているところや良いところを記したメッセージカードをもらっておく。(実施にあたっては、児童・保護者の家庭の状況等に十分に留意すること。)

終わりの会等で、一日の生活の中で見つけた友達の良さや励ましの言葉をメッセージカードに書かせておく。

受け取るメッセージカードの数に偏りがなく、誰もが均等にメッセージを受け取ることができるようにする。(言動や人柄など様々な視点から見るできるように声かけをする。)

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○「ぼく」の読み聞かせをする。	一斉	○「ぼく」の読み聞かせを聞く。	○温かい雰囲気を読み聞かせをする。	絵本「ぼく」
	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。	○読み取りをねらいとはせず、導入として児童が絵本の作成をするときにイメージを持ちやすくするために用いる。	
展開	<b>オリジナル絵本を作ろう</b>				
	○自分自身を振り返らせる。	個別	○オリジナル絵本を製作する。	○各ページに書く内容を明確にしておく。(指導者用資料参照) ○自分の好きなこと、得意なことなどを挙げさせることで肯定的な自分を捉えさせる。 ○保護者や友達から書いてもらったメッセージを読んで、他人から見た自分の良さに気付かせる。	絵本の用紙 保護者や友達からのメッセージカード 色鉛筆 (12色)

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
展 開				○各ページの挿絵を考えさせ、色鉛筆で絵を描かせる。	
	<b>絵本を読み合おう</b>				
	○互いの思いや考えを交流させる。 ○友達の良さに気付かせる。  ○友達から見た自分を知る。	グループ  個別	○製作した絵本を読み合わせる。  ○相手の絵本の感想を付箋に書く。  ○感想を伝え合う。	○1グループ3,4人で編成をする。  ○自分との違いに着目しながら聴くようにさせる。  ○作品の心に残ったところや夢に向けての励ましの言葉などが書けるように助言する。  ○感想を伝える時は、お互い相手の目を見て、相手のことを思いながら伝えるようにさせる。  ○伝え終わったら、書いた付箋を友達に渡し、絵本に貼らせる。	製作した絵本  付箋
まとめ	○本時の振り返りをさせ、さらに交流させる。	個別 一斉	○本時の振り返りをを行い、交流する。	○絵本を作ったこと、交流したことなどを通して、改めて自分の良いところ、友達の良いところに気付き、伝えられたかという視点で振り返らせる。	振り返りシート

### ●評価

- ・自分自身を見つめることで、自分の良さに気付くことができたか。
- ・友達の良いところを発見し、伝えることができたか。

## 絵本の紹介

### 「ぼく」

竹田 まゆみ 作  
渡辺 有一 絵  
教育画劇



がっかりするときや  
じぶんが いやになるときって あるよね？  
そんなとき 「ぼく」をおもいだしてよ  
そして「きみ」のこと もういちど ゆっくり  
ゆっくり かんがえてみて・・・

(絵本表紙より)

好きなものを一つ一つ紹介してくれる「ぼく」が、最後に教えてくれた「一番好きなもの」は？

自分自身を見つめ、大切に感じるができる絵本です。